

第16回血管腫・血管奇形 IVR 研究会

期 日：2019年5月31日（金） 9:00～11:00
会 場：福岡国際会議場 4F 409+410 会議室 （第4会場）
プログラム：教育講演、症例検討ならびに一般演題

教育講演：形成外科から見た血管奇形 9:00～9:50（各25分（発表20分 質疑応答5分））

座 長 井上 政則 先生 慶応義塾大学病院

演 者 尾崎 峰 先生 杏林大学 医学部 形成外科

演題名 『血管奇形病変に対する切除術』

演 者 佐々木 了 先生 国家公務員共済組合連合会 斗南病院

演題名 『外来での混合型血管奇形のマネージメント』

症例検討：3症例 9:50～10:15（3症例 1題8分インタラクティブに）

司 会 大須賀慶悟先生 大阪大学医学部附属病院

症例1 長谷川 靖晃 先生 東京慈恵会医科大学病院

症例2 北川 晃 先生 愛知医科大学病院

症例3 作原 祐介 先生 国家公務員共済組合連合会 斗南病院

一般演題：血管血管奇形（血管腫・血管奇形 IVR 研究会、日本 IVR 学会合同セッション）

10:15～11:00（5演題 1題9分（発表6分 質疑応答3分））

座 長 三村 秀文 先生 聖マリアンナ医科大学病院

演者1 西田 健二 先生 総合病院土浦協同病院 放射線診断科

演題名 「膀胱側腔 AVM に対する塞栓術前の血行動態把握

：流入動脈留置カテーテルからの Dynamic volume scan の有効性」

演者2 小野澤 志郎 先生 帝京大学医学部附属溝口病院 放射線科

演題名 「静脈側塞栓により病勢をコントロールし得た脾臓周囲主体の高流量 AVM

および縦隔内低流量 AVM の1例」

演者3 今井 茂樹 先生 総合南東北病院 総合血管内治療センター

演題名 「皮下軟部組織動静脈奇形に対するマイクロバルーン併用硬化塞栓療法の

治療成績」

演者4 宇賀神 敦 先生 自治医科大学 放射線医学教室

演題名 「逆行性経静脈的塞栓が有効であった巨大骨盤動静脈奇形の一例」

演者5 藪田 実 先生 聖路加国際病院 放射線科

演題名 「多発傍脊髄動静脈奇形と多発腎動脈瘤を合併した

Generalized Lymphatic Anomaly」